

子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合セン
ター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろ
ば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託事業者
募集要項

令和7年7月
新宿区

目次

●子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナ ー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託事業者の 募集について

第 1	公募の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第 2	事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第 3	児童指導等業務及び一時保育業務実施場所・・・・・・・・	1
第 4	委託業務内容及び規模・・・・・・・・・・	2
第 5	募集に関する事項・・・・・・・・・・	4
第 6	申請事業者の資格及び申請の制限等・・・・・・・・	4
第 7	選定評価に関する事項・・・・・・・・・・	6
第 8	委託契約期間・・・・・・・・・・	6
第 9	業務委託経費に関する事項・・・・・・・・	6
第10	応募申請に関する事項・・・・・・・・・・	8
第11	問合せ先及び申請書類等の提出先・・・・・・・・	9

第1 公募の趣旨

新宿区では、「新宿区子ども・子育て支援事業計画」に基づき、すべての子どもたちが、健やかに自分らしく成長していけるまちの実現を目指しています。

学童クラブ事業は、児童福祉法（昭和22年法律第164号）に基づく放課後児童健全育成事業として、保護者が就労等により放課後、留守となる家庭の児童に、遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図ることを目的としています。

近年は、共働き家庭の増加に伴い、学童クラブ需要は増加し続けてきました。

また、保護者の就労時間が長くなったことと、児童の安全・安心の観点から、学童クラブ事業の実施時間延長を望む声が増してきました。

そのため新宿区では、平成16年度から児童指導業務等委託の実施により、学童クラブ事業の時間延長によるサービスの拡大を行っています。また、学校の余裕教室等を活用した事業の実施や民間事業者による多様なサービスの提供を行ってきました。

前述のような趣旨を踏まえ、令和8年度からの子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託事業者の再選定評価にあたり、児童の健全育成及び在宅で子育てをしている家庭の支援に資する、効率的で質の高いサービスを提供できる民間事業者を選定評価するために公募を実施します。

なお、選定評価はプロポーザル方式により行います。

第2 事業の概要

子ども総合センター内において、新宿区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年10月10日条例第30号）及び新宿区学童クラブ条例（平成12年3月24日条例第31号）に基づき、放課後児童健全育成事業（学童クラブ事業）の児童指導業務を行います。

また、新宿区立子育て支援施設の設置及び管理運営に関する条例（平成22年10月14日条例第46号）に基づき、子ども総合センターにおいて日・祝日の児童コーナー事業の児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務を行います。

詳細は、「子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務要求水準書」（以下「業務要求水準書」という。）のとおりです。

第3 児童指導等業務及び一時保育業務実施場所

・子ども総合センター

【学童クラブ、日・祝日の児童コーナー、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育】

東京都新宿区新宿七丁目3番29号（地下1階、1階～2階）

※平面図については、別紙を参照してください。

第4 委託業務内容及び規模

1 子ども総合センター内学童クラブ事業

児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業で、新宿区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、新宿区学童クラブ条例、同条例施行規則に規定する事業に関連する要綱、要領及びマニュアル等に基づきながら実施する児童指導業務（日常清掃業務を含む）です。

ただし、学童クラブの利用についての審査及び利用料徴収に関する事務を除きます。

(1) 定期利用

対象	区立小学校に在籍するか、区内に居住し区外の小学校に在籍する、保護者の就労や疾病等のため学童クラブの利用時間に家庭において継続的な保護が受けられない小学生	
定員	65名 ※ただし、定員を超えていても利用基準を満たしていれば、3年生まで（特別に配慮が必要な児童は6年生まで）は全員受け入れます。	
実施日	月曜日～土曜日（ただし、祝日と12月29日～1月3日を除く）	
実施時間	通常期（月～金）	放 課 後 ～ 午後7時
	学校休業日	午前8時 ～ 午後7時
	※午前8時～午前9時、午後6時～午後7時は、保護者の就労状況等から必要ある児童のみ、利用可能とします。 ※学校休業日とは、学校長期休業期間・土曜日・学校振替休業日及び学校創立記念日等、当該学童クラブ在籍児童が通っている小学校に基づきます。	

(2) 学校休業期間利用

対象	区立小学校に在籍するか、区内に居住し区外の小学校に在籍する、保護者の就労や疾病等のため学童クラブの利用時間に家庭において継続的な保護が受けられない小学生	
定員	20名 ※ただし、定員を超えていても利用基準を満たしていれば、3年生まで（特別に配慮が必要な児童は6年生まで）は全員受け入れます。	
実施日	区立小学校の学校休業期間の月曜日～土曜日 （ただし、祝日と12月29日～1月3日を除く） 4月春休み／7月夏休み／8月夏休み／冬休み／3月春休み ※区分ごとに登録ができます。	
実施時間	午前8時 ～ 午後7時	

(3) 土曜日定期利用

対象	区立小学校に在籍するか、区内に居住し区外の小学校に在籍する、保護者の就労や疾病等のため学童クラブの利用時間に家庭において継続的な保護が受けられない小学生
定員	定員なし
実施日	土曜日（ただし、祝日と12月29日～1月3日を除く）
実施時間	午前8時 ～ 午後7時

※詳細は、業務要求水準書のとおり。

2 子ども総合センター日・祝日の児童コーナー事業（児童館事業）

児童福祉法第7条に規定される児童厚生施設で、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とし、新宿区立子育て支援施設の設置及び管理運営に関する条例、同条例施行規則に規定する事業に関連する要綱、要領及びマニュアル等に基づきながら実施する児童指導業務及び施設管理業務です。

対象	0歳～18歳未満（登録制）
定員	なし
実施日	日曜日・祝日（ただし、12月29日～1月3日を除く）
時間	午前9時 ～ 午後6時

※詳細は、業務要求水準書のとおり。

3 子ども総合センターひろば型一時保育事業

身近なところで、短時間、乳幼児を預かることにより、在宅で子育てをしている家庭への支援を目的とし、新宿区立子育て支援施設の設置及び管理運営に関する条例、同条例施行規則に規定する事業に関連する要綱等に基づきながら実施する一時保育業務です。

対象	生後6か月～小学校就学前（登録制）
定員	同一時間内に5名まで
実施日	月曜日～金曜日（ただし、祝日と12月29日～1月3日を除く）
時間	午前9時～午後5時

※詳細は、業務要求水準書のとおり。

4 子ども総合センター障害幼児一時保育事業

新宿区立子育て支援施設の設置及び管理運営に関する条例、同条例施行規則に規定する事業に関連する要綱等に基づきながら実施する、心身の障害や発達に心配のある幼児を対象とした一時保育業務です。

対象	3歳～小学校就学前（登録制）
定員	1日2名
実施日	月曜日～土曜日（ただし、祝日と12月29日～1月3日を除く）
時間	午前9時～午後5時

※詳細は、業務要求水準書のとおり。

第5 募集に関する事項

1. 募集の開始日、スケジュール

募集要項の公表及び募集開始	7月25日(金)	
事業者向け説明会	7月30日(水)	午前10時～午前11時
提出書類作成にあたっての質疑締切	8月 4日(月)	午後5時まで
質疑回答	8月 7日(木)	新宿区ホームページに公開
申請書類提出締切	8月14日(木)	午後5時まで
第1段階評価(書類評価)	9月12日(金)	結果通知: 9月 中旬
第2段階評価(現場視察)	9月30日(火)	
第2段階評価(公開プレゼンテーション・ヒアリング)	10月12日(日)	結果通知: 12月 上旬
学童クラブ準備引継ぎ委託	2月 上旬 ～ 3月31日(火)	
学童クラブ児童指導業務等委託開始	4月 1日(水)～	

2. 募集要項等の配付

- (1) 配付期間 令和7年7月25日(金) から8月14日(木)(土・日・祝日を除く)
午前9時～午後5時
- (2) 配付場所 新宿区立子ども総合センター(東京都新宿区新宿七丁目3番29号)
子育て支援課児童館運営係 電話 03-5273-4544

3. 事業者向け説明会

日 時 令和7年7月30日(水) 午後10時～午前11時
会 場 新宿区立子ども総合センター 3階 研修室(東京都新宿区新宿七丁目3番29号)

※参加希望事業者は、説明会参加申込書に必要事項を記入の上、7月29日(火)午後5時までに、メール又はFAXで新宿区子ども総合センター子育て支援課児童館運営係へ送付し、当日会場へお越しください。

※参加人数は、1事業者あたり2名までとさせていただきます。

メールアドレス: kodomo-jidokanunei@city.shinjuku.lg.jp

FAX: 03-3232-0666

4. 質問の受付及び回答

「子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託 募集に関する質問票」に質問要旨を簡潔にまとめ、メール又はFAXで下記の新宿区子ども総合センター子育て支援課児童館運営係へ送付してください。なお、回答については公平を期するため、新宿区ホームページに掲載します。

メールアドレス: kodomo-jidokanunei@city.shinjuku.lg.jp

FAX: 03-3232-0666

第6 申請事業者の資格及び申請の制限等

1. 申請事業者の資格

次の(1)～(2)の条件を、全て満たす事業者とします。

- (1) 令和7年4月1日現在、東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県いずれかで、放課後児童健

- 全育成事業（又は類似する事業）の運営若しくは受託実績が１年以上ある事業者
- (2) 学童クラブ等の児童指導業務の受託に熱意のある民間事業者で、社会福祉法人、学校法人、NPO法人、株式会社等法人格を有する事業者

2. 申請の制限

申請事業者の資格条件を全て満たしていても、下記に該当する場合は、申請できません。

- (1) 管理を円滑に遂行できる安定的かつ健全な財政能力を有していないもの（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続の開始申立てをしているもの、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続の開始の申立てをしているもの、その代表者が破産者で復権を得ないもの等）
- (2) 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）第3条（私的独占又は不当な取引制限の禁止）又は第8条第1項第1号（一定の取引分野における競争を実質的に制限することの禁止）に違反するとして、公正取引委員会又は関係機関に認定された日から2年を経過していないもの
- (3) 業務委託に関連する法規に違反するとして関係機関に認定された日から2年を経過していないもの
- (4) 代表者、役員又はその使用人が刑法（明治40年法律第45号）第96条の3（強制執行行為妨害等）又は第198条（贈賄）に違反する容疑があったとして逮捕若しくは送検され又は公訴を提起された日から3年を経過していないもの
- (5) 地方自治法（昭和22年法律第67号）第92条の2（普通地方公共団体の議会の議員の兼職・兼業の制限）、第142条（普通地方公共団体の長の兼職・兼業の制限。同条を準用する場合を含む。）又は第180条の5第6項（普通地方公共団体の委員会の委員又は委員の兼職・兼業の制限）の規定に抵触することとなるもの
- (6) 団体が次のいずれかに該当するもの
- ① 最近3年間に於いて、国税及び地方税を滞納しているもの
 - ② 本区における業務委託の手続において、その公正な手続を妨げ、又は不正の利益を得るために連合したとして区又は関係機関に認定された日から5年を経過しないもの
 - ③ 当該業務委託の選定評価委員会の委員が、経営又は運営に直接関与しているもの
 - ④ 新宿区競争入札参加有資格者停止等措置要綱（平成13年10月1日付け13新総財第550号）の有資格者を申請団体と読み替えた場合に、指名停止の基準に該当するもの又は暴力団等に関する措置として入札に参加させないものに該当するもの
- (7) 新宿区契約における暴力団等排除措置要綱（平成24年2月3日付、23新総契第2218号）別表の左欄に掲げる措置要件に該当するもの

3. 失格について

契約締結までの間、次の(1)～(3)のいずれかに該当した場合は、失格とします。

- (1) 上記に規定する申請事業者の資格を有しなくなった場合
- (2) 上記に規定する申請できないものにあたる事由が発生した場合
- (3) 提出された書類の記載事項が虚偽であることが判明した場合

第7 選定評価に関する事項

1. 選定評価の方法

新宿区は、子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託事業者選定評価委員会を設置し、選定評価基準に照らし、受託事業者となるべき申請事業者（以下「候補事業者」という。）を選定評価します。選定評価委員会の選定評価結果を踏まえ、区長が委託事業者を決定します。

なお、候補事業者が、次の（１）又は、（２）に該当するときは、当該候補事業者を除く申請事業者の中から再び選定評価します。

- （１）候補事業者の事情により、児童指導等業務及び一時保育業務の受託を行うことが不可能となったとき
- （２）新たに判明した事実により、児童指導等業務及び一時保育業務の委託を行うことが適当でないと認められるとき

●選定評価方法は以下のとおりです●

- （１）第１段階評価（書類評価）
- （２）第２段階評価（現場視察、公開プレゼンテーション、事業者ヒアリング）

※第２段階評価進出申請事業者に対して、プレゼンテーション用に、別途資料作成を依頼します。

2. 選定評価基準

別紙「子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託事業者選定評価基準」を参照

3. 選定評価結果

- （１）選定評価結果については、第１段階評価及び第２段階評価ともに、文書で通知します。
- （２）選定評価結果についての異議申し立てはできないものとします。
- （３）選定評価の過程及び他法人の選定評価結果については公表しません。

第8 委託契約期間

1. 準備引継ぎ委託契約期間

令和8年2月上旬から3月31日まで

2. 本委託契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

なお、施設の利用者及び地域の関係者等で構成する運営協議会における評価を踏まえ、継続して事業を実施することが妥当と区が判断した場合は最長5年間を限度とし、継続して委託契約を結ぶことも可能とします。

第9 業務委託経費に関する事項

別紙「業務要求水準書」を参照するとともに、次の事項に留意して提案してください。

なお、事業実施にあたっての光熱水費・その他施設の維持管理経費（修繕等）については、区が

負担します。

学童クラブ及びひろば型一時保育は非課税事業です。また、日・祝日の児童コーナーは課税事業ですので、消費税率10%で積算してください。

※参考金額は、説明会等でお示しします。

※契約金額は、令和8年度予算の議決を前提に成立した予算金額の範囲内とします。

※議決及び事業規模により、予算金額を含む提案内容に変更される場合があります。

※新宿区では、公契約条例に基づき、予定価格が1,000万円以上の委託契約については「労働環境の確認」を行います。詳細は、新宿区ホームページでご確認ください。

1. 人件費

人件費は、業務要求水準書を参考にし、専門的職員の雇用割合を十分勘案した上で算出してください。

人件費については、新宿区公契約条例に定める労働報酬下限額を保証することは勿論のこと、賃金構造基本統計調査等を勘案して、専門職としての給与水準を確保の上算出してください。

なお、障害幼児一時保育は、利用児童1人につき1時間あたり、平日は2,270円、土曜日は3,180円を乗じた額（非課税）を区が支払うものとしますので、今回の提案には含めないでください。

2. 人件費を除いた管理経費等

行事費及び教材費等事業実施に必要な経費について積算してください。なお、学童クラブのおやつ代は、毎月の定期利用登録人数に2,000円を乗じた額を区が支払うものとしますので、今回の提案には含めないでください。

学童クラブ業務及びひろば型一時保育業務実施に伴う具体的な管理経費の細目を、次に記載する算出細目内訳の例を参考に提案してください。

（参考：算出細目内訳の例）

事業費	教材費（事業の実施に係る教材、図書、遊具、利用者用文房具等） 行事費（行事の実施に伴う支出） その他
管理費	福利厚生費（健康診断料、検便・検査料、細菌検査料等） 旅費交通費（研修、会議に係る旅費等） 研修費（研修参加費、研修テキスト代等） 消耗品費（事務用品、衛生用品等） 印刷製本費 通信運搬費（郵便料、電信料、運搬料等） 使用料及び賃借料（リース費、レンタル料、入園料、入館料等） 委託料 保険料（利用者及び従事職員の傷害保険料等） 租税公課 法人本部経費（当該事業のために行う人事や労務、広告宣伝等の事務に要する間接経費等） 雑費（他に該当しない経費）

3. 提案する上での事業規模参考数値

- (1) 子ども総合センター内学童クラブ事業
令和8年度登録想定数 28人(内 障害児等4人)
- (2) 子ども総合センター日・祝日の児童コーナー事業等
のべ利用数(0歳児～18歳児・保護者)
令和5年度 7,365人
- (3) 子ども総合センターひろば型一時保育事業
のべ利用数(0歳児～未就学児)
令和5年度 1,173人
- (4) 子ども総合センター障害幼児一時保育事業
のべ利用数(3歳児～未就学児)
令和5年度 295人

第10 応募申請に関する事項

【提出期限】

令和7年8月14日（木）午後5時まで（ただし、土・日・祝日は除く。）

【提出先】

提出書類の確認（所要時間：３０分程度）を行いますので、必ず提出日の前日までに電話連絡により提出日時の予約を行った上で、新宿区子ども総合センター子育て支援課児童館運営係へ持参してください。

- ◆新宿区立子ども総合センター（東京都新宿区新宿七丁目3番29号）
◆電話番号 03-5273-4544

【提出書類】

- (1) 応募申請書兼誓約書
(2) 事業者に関する書類及び企画提案に関する書類等

※詳細は、別紙「子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の
児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託
事業者公募申請書類一覧」を参照してください。

【提出部数】

- (1) 応募申請書兼誓約書：1 部
(2) 事業者に関する書類及び企画提案に関する書類等：10部（正本1部 副本9部）

正本は、事業者名を記載したものを提出してください。副本9部は、写しで構いませんが、事業者名を特定し得る社名、組織名、人名、町名番地（住所）等は、全て塗りつぶし等を行い、判読できないようにしてください。

例：新宿区〇〇学童クラブ→新宿区■■■■学童クラブ

〇〇会社 代表取締役 〇〇太郎→XXXXXXXXXX会社 代表取締役

東京都新宿区新宿七丁目3番29号→東京都新宿区

【留意事項】

- (1) 申請書の整え方
- ① 指定の様式は、新宿区ホームページの「子ども家庭部 - 子ども総合センター」のページからダウンロードしてください。

- ② 用紙はA4 縦を原則とし、A4 以上を使用する場合は折り込んでA4 サイズに統一してください。
- ③ 提案内容は簡潔に記入してください。
- ④ 申請書類は別紙「子ども総合センター内学童クラブ、子ども総合センター日・祝日の児童コーナー児童指導等業務、ひろば型一時保育及び障害幼児一時保育業務委託事業者公募申請書類一覧」の順に、A4 フラットファイルに左綴じにして提出してください。
- ⑤ ファイルにまとめた申請書類は、様式ごとにインデックスを付けてください。
- ⑥ 申請書類一覧の「5 提案概要」については、紙媒体及び電子データで提出してください。

◆メールアドレス： kodomo-jidokanune@city.shinjuku.lg.jp

(2) 提出書類の訂正

募集期間内に提出された書類で、訂正又は差し替えがある場合は、提出の締切日まで訂正又は差し替えを認めます。

(3) 申請書類の取扱い

- ① 申請書類は理由の如何を問わず、返却しません。ただし公募期間中に文書により申込みの撤回をした場合には、提出書類を返却します。
- ② 申請書類の著作権は、申請者に帰属します。ただし、区は選定評価実施に関する報告書等を作成するために申請書類の内容を使用する必要があるため、必要な場合には申請書類の内容を無償で使用できるものとします。
- ③ 区が提供する資料は、新宿区ホームページで公表しているもの、区立図書館で閲覧に供しているもの、一般に配布しているものを除いて、申請に係る検討以外の目的で使用することを禁止します。さらに、この目的の範囲内であっても、区の下承を得ずに第三者に対してこれを使用させること、また、内容を提示することを禁止します。
- ④ 申請書類は「新宿区情報公開条例（平成13年条例第5号）」による情報公開の対象となります。また、新宿区情報公開条例に基づく公文書公開請求の対象となった文書として、区が申請書類を公開する場合に当たっては、申請者は著作権法（昭和45年法律第48号）に規定された著作権者としての権利を主張できないものとします。

(4) 費用負担

申請に関して必要となる費用は申請事業者の負担とします。

(5) 予定事業者等の公表

予定事業者として決定した事業者について、新宿区のホームページで公表します。

【申請辞退】

申請を辞退することが明白となった場合には、速やかに申請辞退届（様式9）を提出してください。

第 1 1 問合せ先及び申請書類等の提出先

〒160-0022

東京都新宿区新宿七丁目 3 番 29 号 子ども総合センター1 階

新宿区子ども総合センター子育て支援課児童館運営係

電 話： 03-5273-4544

FAX： 03-3232-0666

メール： kodomo-jidokanunei@city.shinjuku.lg.jp

担 当： 児童指導業務等事業者公募担当者